



令和6年6月1日
目黒区立中町保育園園長

先月行われたクラス懇談会では、お忙しい中多数の保護者の方にご出席いただきありがとうございました。保護者の皆さんのお話からその年齢の特徴が表れていて、共有できることも多かったと思います。食事中に立ち歩いたり、もっと遊びたくて寝る時間が遅くなったり、やろうとしていることを先回りされて怒ったりする子どもの姿にどのように関われば良いか等の悩みが出されました。その中で子どもの自己主張やこだわりにどのように対応しているかという話では、我が家のルールを決めて伝える、いくつかの選択肢を与えて決めさせるなどの工夫がされていました。また、気持ちを受け止めつつ「今は〇〇だからできないけれど、今度〇〇しようね」と見通しを伝えることで切り替えられるようになってきたという話もありました。このようなやりとりを繰り返していくことで少しずつ理解して、自分で考えて行動できるようになっていくのだと思います。また、各ご家庭の状況や工夫が話され「うちだけでなく安心した」「他の家庭のご意見を聞いて参考になった」等の感想をいただき保護者の皆さんの安心に繋がったように思います。3歳児クラスの懇談会で子どもが「～して」と言った時には応えてあげて欲しいことをお伝えしました。自分の気持ちを言葉で伝えられることは大切であり、それに充分に伝えてもらえたことで満足して、次は自立に向かっていきます。各ご家庭の教育方針や子育てで大切にしていることを理解しながら、伸びようとしている子どもの姿を見守り、子育てのパートナーとして共に援助していきたいと思えます。

行事予定

環境教室 (3・4・5歳児)
耳鼻科検診 (3・4・5歳児)
歯科検診 (全園児)
おひさま縁日 (3・4・5歳児)
眼科検診 (全園児)

中旬 身体計測 避難訓練



<5歳児クラス 田植えの様子>

みんなで作った田んぼに2人1組で田植えをしました。保育園でのお米作りは、年長児を中心に稲刈り、脱穀、もみすりと全て手作業で行いますが、園全体で関わっていく取り組みとして、他クラスの保育士や栄養士、用務職員も参加し、毎年伝承していくことも目的の1つとなっています。

初めて経験する田植えなので、まずは室内で保育士から植え方を聞き、苗の根本を持つことや根は泥の中にとしっかりと入れることを学びました。最初は緊張もあったのか恐る恐る植えていましたが、何束か植えると慣れてきてペースも早くなり、終わる頃には「もっとやりたい」「楽しかった」という声が聞かれました。小さな苗がこれからどんな生長をしていくのか、子どもたちは楽しみにしていて「水やり頑張ろうね」と話していました。



乳児クラスの遊びの様子

もも組（0歳児）

「初めての片栗粉遊び」

初めての片栗粉遊びをしました。トレーに片栗粉をのせてみると、始めは「なんだろう」とじっと様子を見ていましたが、保育士が粉を触ったりつついたりして見せると、そっと手を伸ばし始めました。水を入れてかき混ぜるとさらに興味をもち触っています。「おもしろいね。トロトロだね」と言いながら上から垂らしてみると、嬉しそうに手を伸ばして受け止めています。また、保育士がトロトロの片栗粉を握って固め、開くと溶け出す様子を見せてみました。片栗粉には、力を加えて握ると塊になり、力を抜いて手を開くと再びトロトロと溶け出す性質があります。子どもたちの手の上にも塊をのせてみると何度も手のひらを握ったり開いたりして不思議な感触を楽しんでいました。



たんぼぼ組（1歳児）

「入ったよ」

穴が開いているタッパーにチェーリングやプレートを通して遊ぶことが好きです。壁に括り付けた透明なチューブの上からチェーリングを入れると落ちていく様子がよく見えるので、顔を近づけて見ながら何度も入れて落とすことを繰り返しています。ある時はお手玉を持ってきてチューブに入れましたが、大き過ぎて入りませんでした。玩具がある場所を行ったり来たりしながら、どれだったら入るかと次々に違う玩具を持ってきて試しています。入ると「あっ」と指さして、嬉しそうに保育士に教えてくれました。チェーリングやフェルトなどの玩具によって落ち方が違うことを楽しみ、上から落ちて下から出てくる様子を見ながら、繰り返し遊んでいます。



ちゅうりっぷ組（2歳児）

「ダンゴムシみつけた」

散歩先の公園に着くと数人の子どもがダンゴムシを探し始めました。落ち葉の下や土の中をよく探し、ダンゴムシがいることを伝えると、「ほんとだ」「ダンゴムシいるね」と大喜びしています。保育士が手に乗せ、子どもたちに見せると「小さい」「歩いてるね」とじっと見えています。手に乗せてみるか聞いてみると、1人の子どもが頷きました。手に乗せると少し驚きながらも嬉しそうに見ています。ダンゴムシに触れると丸くなってしまい、「ねんねしちゃった」「起きるかな」「大丈夫かな」と起きるのを待ち、動き始めると「起きた」と嬉しそうに声をかけ、落ち葉などを見つけ、ご飯をあげていました。ダンゴムシやアリなどの小さな生き物や草花などの自然物に触れながら、見つけた喜びを友だちや保育士と共感しています。

